

誘導加熱装置を主力に 超電導コイルなども展開

海外
発注可
納期
相談
コスト
相談
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



自ら考え行動する人材を育成する

業務内容
生産設備や変電所、
研究機関向けに製造

「羽衣電機」はさまざまなコイルを製作する会社。自動車部品などの生産設備で用いる産業用の誘導加熱装置をはじめ、変電所、大規模工場に電力を安定供給する設備の部品であるリアクトルや抵抗器、大学、電力会社、鉄道会社などの研究機関で実験に使う超電導コイルの3分野を展開する。

主力の誘導加熱装置はコイルに電気を流し金属を加熱する仕組み。自動車、空調部品のほか建機、製鉄、ボルト、半導体などの生産設備で広く使われる。超電導コイルは電力貯蔵やリニアモーターカー、医療用加速器などの研究開発に採用されている。

強み
技術指導体制を確立
徹底した改善活動も

コイル技術を強みに日本を代表する大手企業や有力研究機関など約150社と取引する。その礎が大手電機メーカーO.Bの技術者を顧問に迎え、技術指導してもらう体制だ。北田吉秀会長が社長時代に築いた。これにより高度な技術やノウハウを蓄積しつつ、製品開発の期間も短縮した。

徹底した改善活動も強み。毎朝30分を掃除に充て、作業場や材料、工具置き場の整理整頓など5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）も進める。改善合宿をしたこともある。テーマごとにチームを組み全員参加で改善活動したり、月1回、製造工程をビデオで撮り改善点を話し合う取り組みもしている。

人材育成
多彩なメニューで
技術や能力を高める

人材育成は一人ひとりの技術や能力を

高めチームの力が最大になるよう多彩なメニューを用意する。他社の工場や取り組みを見学し学ぶ機会を設けるほか、不適合やクレームの原因を話し合う社内研修を実施。外部機関の研修も積極的に行う。

社員の意識を高める仕組みも設ける。「連絡は、あわてず、急いで、正確に」など自作の社内ルールの標語を毎日、朝礼で唱和。現場で見つけた課題を報告する「気づいてくれてありがとう制度」は昨春に始めた。北田昇平社長は「自分の仕事以外にも目を向けるようになった」と効果を実感する。

今後の展望
アジアを中心に
海外顧客の開拓に力

同社は韓国、中国、インドネシアをはじめ海外で営業活動を展開している。北田社長は「ニッチな分野なので今後、国内ではお客様があまり増えない」とみており、国内にとどまらずアジアを中心に顧客の開拓に力を入れる。特に人口が多いうえ平均年齢が若く、自動車の需要が増えることからインドネシアを有望市場と位置づける。最近、ホームページにインドネシア語版を立ち上げた。現地企業を開拓する計画だ。一方、付加価値の高い製品づくりをさらに進めたいとしており、「もう少し筋肉質な会社に変えたい」と北田社長は話す。



主力の
誘導加熱装置



整理整頓された工具置き場

当社の歴史



「羽衣電機」は電車で用いる直流モーターの保守から起業しました。バブル崩壊や阪神大震災など苦境がありましたが、新しい分野に活路を見いだしてきました。今後も「奉仕と誠意の精神により豊かな人間社会の創造を指向する」企業として努力を続けて参ります。

代表取締役 北田 昇平さん

<http://www.hagoromodenshi.co.jp/>

主な事業内容
電磁機器の設計、製作、修理

主な取引先(納入先)
自動車部品メーカー、
製鉄メーカー、電機メーカー、
電力会社、大学等研究機関

●住所 〒593-8327
堺市西区
鳳中町7-231
●TEL 072-262-0860
●FAX 072-264-1413
●創業 大正元年
●設立 昭和23年8月
●資本金 1,000万円
●従業員 35名

大阪 29 ISO 9001